

## 熱帯の森林害虫（26）

野 淵 輝

## 甲虫目 3

## ナガシンクイムシ科 Bostrichidae (false powderpost beetles)

成虫は円筒形、体長 20 mm 以下の中・小型種が多いが 50 mm を越える大型種もある。一般に長く円筒状、褐色ないし黒色。頭部は下口式で前胸背に隠れ背面から見えない。触角は短く 10~11 節で 3 節からなる球桿部をそなえる。前胸部は粗面あるいは顆粒をそなえる。上翅は後方で傾斜し、突起をそなえるものがいる。外形はキクイムシに似るが、上唇・頭楯・前頭の間に横皺があることで明らかに区別できる。跗節は 5 節で、第 1 節は微小。食材性で重要木竹材害虫を多く含み、貯穀害虫もいる。*Synoxylon* の数種は造林地で生立木の枝、幹に穿孔することがある。

チビタケナガシンクイムシ *Dinoderus minutus* (Fabricius) は熱帯から温帯の各地に生息する。成虫は体長 2.3~3.5 mm、円筒形、赤褐色ないし黒褐色、前胸背の前半部には同心円状にならんだ瓦状突起がある。一見キクイムシに似る。乾燥竹材の重要害虫で、トウ（ラタン）、デリス根も加害し、例外的にジェルトンの乾材についていることがある。成虫は竹材の中に穿孔し、繊維方向に対し直角の母孔を掘って産卵する。大発生した家屋内で各種の針葉、広葉樹材などに穿孔することがあるが、そこでは繁殖しない。この虫の加害は材中の澱粉量と深い関係がある。*D. bifoveolatus* (Wollaston) は前種に類似するが、体がやや細長く、前胸背前縁の歯状突起は小さく数が多い。熱帯・亜熱帯に分布する。主に広葉樹材につく。オオナガシンクイムシ *Heterobostrychus hamatipennis* (Lesne) は東南アジア、インド、マダガスカル、中国、日本に分布する。体長は 8.8~15.5 mm。長円筒形、黒色ないし黒褐色。前胸背の前縁は一直線かわずかに凹み、両側に 1 本の大きな歯状突起をそなえる。上翅斜面部には強大な 1 対の突起をそなえる。成虫は丸太や枝材の表面から約 4 cm 位の深さに母孔を作り産卵する。幼虫は母孔から材中に食入し、孔道には虫糞と木屑を密に詰める。日本でラワン材やゴムノキなどの輸入材についてきた虫が 4 mm 位の円形の脱出孔を開けて良く出てくる。本種に似た *H. aequalis* (waterhouse) は広



図 1 チビタケナガシンクイムシ

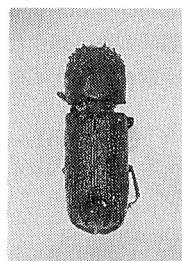


図 2  
*Heterobostrychus aequalis*  
(waterhouse)

葉樹材につき、体背面には毛がなく、上翅斜面部に2対の突起をそなえる。ここまでこの種類は森林害虫でなく、乾材・竹材の害虫である。*Schistoceros bimaculatus* Olivier はキプロスで *Acacia cyanophylla* の枝に孔道を掘った記録があるが、重要な森林害虫ではない。

*Sinoxylon anale* Lesne は南アジアに普通の Auger beetle で、オーストラリアやニュージーランドに侵入定着している。成虫は枯死木、乾燥木の辺材に穿孔産卵し、穿孔から細粉を排出する。広範囲の樹種につく。成虫は時に造林木の新梢や若い樹幹に食入し、樹幹では縦断面に一周した孔道を掘る。世代長は3か月から数年にわたる。被害樹は枯損し易くなるか、枯死する。*Acacia indica*, *Albizia procera*, *Dalbergia latifolia*, *D. sissoo* の被害が報告されている。*S. atratum* Lesne はインドからオーストラリアまでの東洋区に分布し、枯死直前の木から枯死木に穿孔し、幼虫は不規則に食害し、白粉化する。各種の樹木につく。成虫は若い幹や新梢を食害し、被害木を枯損させるか、加害部から折損し易くさせる。インドでは *Artocarpus hirsuta* と *Santalum album* への成虫被害が記録されている。また最近ベトナムのアカシア造林地で生立木被害が発生している。普通この属の種類では親虫が生立木に穿孔しても繁殖しないと云うが、ここでは穿孔した母孔内に幼虫と蛹が発見されている。*S. crassum* Lesne はインド、パキスタン、ミャンマー、インドシナ半島に分布し、枯死木の辺材につく。幼虫は不規則に食害し、材部を白粉化する。寄生樹は特定されず何にでもつく。しかし時に成虫は新梢や若い幹に孔道を掘り、被害木は先枯れ症状を起こしたり加害部から折損する。*Shorea robusta* の苗木や萌芽新梢への被害が知られている。*S. ruficorne* Fahraeus はアフリカに分布し、各樹種の枯死辺材で繁殖する。幼虫孔は不規則で木質部を細粉化する。成虫は同属の他種と同様に新梢や若い樹幹に穿孔する。ボツワナで *Delonix regia* に激しい被害が発生している。南アフリカで成虫が *Acacia mearnsii* を加害した記録がある。*S. sudanicum* Lesne はスーダン、インド、パキスタンに分布し、各種樹木の枯死木の辺材で繁殖する。幼虫孔は不規則で木質部を細粉化する。各種の樹木につく。成虫は新梢や若い樹幹に穿孔する。インドで *Acacia indica* を加害したことがある。またワタも加害

する。発育期間は非常に不規則で、成虫は1年中活動する。*S. transvaalense* Lesne はアフリカに生息し、生態と被害は前述の同属の種類と同じである。ボツワナで *Eucalyptus camaldulensis* への被害があった。

#### ヒラタキイムシ科 Lyctidae (powderpost beetles)

成虫は小形、細長く扁平。褐色ないし黒色。頭部は前方に突出する。触角は短く、11節で、2節からなる球桿部をそなえている。森林への被害はないが、家具・建具など乾材の重要害虫を多く含んでいる。

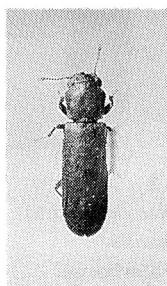


図3 ヒラタキイムシ  
イムシ

ヒラタキイムシ (*Lyctus brunneus* (Stephens)) は熱帯・亜熱帯・温帯に、室内では寒帯まで広く分布する世界的な乾材害虫である。

## ◎熱帯林業講座◎

る。成虫は体長 2.2~8.0 mm, 普通, 6~7 mm の個体が多い。長形で扁平。茶褐色。背面に寝た毛をそなえる。前胸背は基部で上翅基部とほとんど等幅で、前方に向ってわずかに幅広くなる。上翅の細毛は不規則で列状にならない。前脚の腿節は中・後脚よりも幅広い。幼虫は体長 4 mm に達し、乳白色、腹側に C 字形に湾曲する。第 8 腹節にある気門は他の気門よりはるかに大きい。広葉樹の乾材の辺材部を加害し、加害樹種は百十数種に及ぶ。成虫は夜間活動し、乾材の材表面に現れた導管の中に産卵する。幼虫は材内で摂食し、食害跡には白色の虫糞と木屑を密に詰める。蛹化は材表面近くです。羽化成虫は円形の穴をあけ脱出する。日本では 1 世代に 1 年必要とするが、熱帯では数か月に短縮される。

アフリカヒラタキクイムシ (*Lyctus africanus* Lesne) は熱帯・亜熱帯各地に分布し、最近日本でも成虫が発見されている。各種広葉樹の乾材につく。ヒラタキクイムシに形態と習性が似るが、本種の成虫は体がやや小さく（体長 2.5~4.0 mm）、頭部の前頭楯片と後頭楯片の間に凹陥部を欠き、雌の腹部第 4 節（見掛け上の）には幅広い毛房をそなえ、昼間活発に行動する。

ケブトヒラタキクイムシ (*Minthea rugicollis* (Walker)) は熱帯、亜熱帯各地に分布する。成虫の体長は 2.0~3.5 mm。長形で扁平。茶褐色。体背面には立った幅広い明瞭な灰白色鱗毛をそなえる。前胸背は上翅より幅狭く、側縁は鋸歯状をなす。最近日本にも侵入定着しているようである。各種乾燥広葉樹材、竹材につき、フィリピンではヒラタキクイムシより被害が多いという。マラヤでは林地の伐倒木や巻き枯らし木、製材所、貯木所の優占種であり、1 世代は 11 週間とされている。

### ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae (darkling beetles)

成虫は小形ないし大形、形状は変化に富む。体は堅い。多くは黒色、汚色、赤褐色で、中には斑紋をそなえたり、金属光沢をもつ種類もいる。触角は頭部の下部から生じ、短く、11 節からなり、簡単な棍棒状あるいは数珠状。跗節は前・中脚では 5 節、後脚では 4 節からなる。上翅は腹部を覆い、多くは中央で癒合している。幼虫は円筒状でキチン化するか革質。色彩は白色、黄色、褐色である。尾端に 2 本の尾状突起をそなえている。成虫の多くは夜行性で、植物質を食べるものが多く、中には穿孔虫を捕食する種類がいる。枯れ木、朽木、キノコ、土や砂の中などに生息する。

*Gonocephalum depressum* Fabricius は東洋区に分布する。成虫は暗黒色。幼虫は円筒形で光沢があり、黄褐色、土中と朽木に生息し、腐敗物と細根を摂食する。成虫は群飛する。インドでは *Dalbergia sissoo* のほか、コーヒー、サトウキビ、タバコなどの根も加害する。*G. planatum* Walker は、この種と同様な生態をしているが、幼虫が *Shorea robusta* と *Xylia xylocarpa* の播種直後の幼根を食害する。また苗畠の *Morus alba* の苗木の根に激しい被害をあたえたことがある。